

ゴマダラカミキリ

「カマキリがいる大きい!!」と叫ぶチビッコたちの声が後ろの方から聞こえてきました。森の中でもカマキリがいたのか、といぶかりながら歩いていましたら、捕虫網に入れたそれを先頭で案内していた筆者のところまで持ってきてくれました。一目でゴマダラカミキリと分かりました。カマキリではなくカミキリと叫んでいたのが、聴力も怪しくなった身が聞き違いをしたわけでした。小学校 1~4 年生の混成で 10 人ほどを



「森歩き探検隊」として連れ歩いていた中でカミキリを識別して、大きさも判断できる子がいたのは嬉しいことでした。画像の記録は 2015 年 8 月 10 日 14 時 7 分です。多くの目が見回してくれるので一人で歩くと見落とすことでも、見つけてくれるのでありました。

ゴマダラカミキリは体長 25~35mm、青みがかった光沢ある黒地に白い斑点を散りばめた装い



なので目立ちます。触角も黒白まだら、形はカミキリムシの典型的なので美しいのです。全国的にポピュラーでして、九州の我が家のイチジクの木にシロスジカミキリともどもしばしば訪れてくれていました。標本箱にも収まっていたので我が幼馴染なのであります。分布は日本全土。佐渡、対馬、伊豆諸島、屋久島などの大き目の離島にも分布すること。幼虫も成虫も生木を食べます。柑橘類をはじめヤナギ類、クリ、クワ、イチジク、

はてはブラタナスなど幅広く食害するので、特にミカン農家に大害虫として忌避されるのです。食害は木の根元にまで及ぶので倒木や中折れの原因となります。われわれ森人も気をつけなければなりません。

老骨には 1 隊 10 人余を 2 隊澄川の森の歩道を全 2 時間も連れて歩き、熱帯日の中汗まみれの重労働でしたが、子どもたちの歓声や問いかけに励まされ、アリガトウの謝辞もいただいたの楽しいひと時でした。体力上可能なかぎり毎年の楽しみとして期待する次第であります。

